

福井大学生のための

創造力、実践力。
国立大学法人
福井大学

ふくだいプレス

特集

福大オリンピック

学生広報スタッフ企画 We♥福大 「福大の発明」を探る!

新コンテンツ始動!

福大生の就活ノート

It's My Circle / アメリカンフットボール部

Event Calendar



VOL.10
2012
JULY



特集

福大 オリンピック

今年は4年に一度のオリンピックイヤー。
福井大学のみなさんに1番をめざしていることや今頑張っていることなど「私が獲りたい金メダル」を教えてくださいました。
さあ、あなたはどんなことで金メダルをめざしますか？
教)……教育地域科学部 医)……医学部 工)……工学部、大学院工学研究科

子どもと心を通わせ チャンピオン

FFCで障害を持った子どもたちと交流中。子どもから歩み寄ってくれることにやりがいを感じています。子どもの心を読み取り、心を開いてもらうことは誰にも負けないようにしたい！
FFC:探求活動の一環(ふれあいフレンドクラブ)



教)学校教育課程2年
田中康平さん

学生の精神的 サポート大賞

人間関係や学生生活に悩んだときに頼られる存在になりたいので、まずは自分から声を掛けるようにしています。学生の顔と名前を覚え、声掛け運動を実践中です！



医)看護学科
地域看護学領域
川口めぐみ先生

人を救いたい 気持ちはNo.1

ACLS部の活動を通して医療の知識や命の大切さを学び、人を救いたい気持ちをより大切にできるように。その気持ちは誰にも負けずを持ち続けられる優しい医師になりたいです！
ACLS:Acute Cardiovascular Life Support(二次救命処置)



医)医学科6年
佐藤淳美さん

修学環境づくりに 懸ける想い

数年前から少しずつ松岡キャンパスの修学環境を整えてきましたが、今年はずいに医学科講義棟の全面改修に着手します。学習・コミュニケーションの場として学びやすく愛着のわく学舎づくりをめざします！



松岡キャンパス学務室
窪田真由美さん

人を励まし 社会を幸福にする スピリット

学校で1人でいるような友人に声を掛けることを意識。悩みのある友人の話をうまく引き出す「話させ上手」をめざし、誰よりも人を励ませる人になりたい！



工)材料開発工学科3年
中桐正明さん

福大で1番実直な職員

学生の休退学の相談に乗ることが多く、学生の立場に立ちながら幅広い選択肢が提示できるように努めています。そこで大切にしているのが実直さ。話しやすく頼れる職員をめざして頑張ります！



教務課
林大剛さん

未来を創る No.1

学部内で専門の異なる先生方と今までなかった仕組みや考え方を生み出していることとチームを組んでいます。分野を越えて新しいものを創り出すことは大変ですが、とてもやりがいがあります！



教)理数教育講座
浅原雅浩先生

めざせ 料理クイーン

実家暮らしですが、時間があるときは料理をするよう心がけています。冷蔵庫にあるものでパッと作るのが得意。外食で気に入った味を再現したりしてレシピをどんどん増やしていきたい！



医)看護学科2年
増永唯さん

日本文化を英語で 語らせたならNo.1

生活に変化を与えるために始めた英語学習。今年2月にはアメリカへ短期留学。そこで書道などの日本文化を英語でうまく伝えられなかったため、英語も書道ももっと極めてリベンジしたい！



工)電気・電子工学科2年
北川香子さん

誰よりも仲間を 思いやる気持ち★

今の1番の目標は、よさこいサークルでの集大成となる8月の大会で仲間と最高の演舞をすること！そのために私だけではなくメンバー全員が仲間を思う気持ちNo.1でいられたらいいと思います。



教)地域科学課程3年
乗京舞さん

B級カメラ使い (消火栓部門) チャンピオン

子どもの誕生をきっかけに始めた中古(ちゅうふる)カメラ使いと熱意は誰にも負けません！学内でも毎日カメラを持ち歩き、コレクション26台を被写体によって使い分けて楽しんでます。



工)原子力・エネルギー
安全工学専攻
玉川洋一先生



杉山愛トークショー ~グローバルに活躍することとは~

4月6日に行われた入学式において、元プロテニスプレーヤーの杉山愛さんをお招きして「グローバルに活躍することと、語学力・コミュニケーション力」をテーマにトークショーを開催しました。世界を舞台に活躍する杉山さんのお話は、いつしか語学力・コミュニケーション力の枠を超えていきます。

【進行】
明石行生先生
大学院工学研究科
建築建設工学専攻

【参加者】
加藤儀直さん
教育地域科学部学校教育課程4年

角田瑛さん
医学部医学科5年

池田理絵さん
大学院工学研究科
原子力・エネルギー安全工学専攻
博士前期課程2年

世界に出て気付いた 英語の必要性

明石 杉山さんの著書などで、テニスのトッププレーヤーとして活躍できた原動力の一つが「語学力やコミュニケーション力」だったと伺いました。これらの力はどのようところで重要でしたか。

杉山 テニスの大会は1月から11月初旬まで世界各地で開催されており、現役時代は1年の半分以上を海外で過ごしてきました。テニス界の公用語は英語です。

語のため、必要な情報を得たり、選手とのコミュニケーションを取ったりするのは英語が不可欠です。17年間のプロ選手生活を楽しく元気に過ごすことができたのは、英語を身に付けたからだと思います。

加藤 英語を身につける必要性を感じたのはいつ頃ですか。

杉山 プロになった高校2年生の頃です。テニス選手は試合前にインタビュー



明石先生

に答えるなど、英語でメディア対応をすることも仕事のひとつですが、英語が流暢でなく、「英語を話さなければ」というプレッシャーでナーバスになることが多くありました。試合に集中するために英語力の必要性を感じました。

池田 必要に迫られて英語の



角田さん

簡単です。でも、外側から日本を見てもみるのも楽しいと思います。私自身、世界に出たからこそ、日本についてわかったことがたくさんあります。

Be the best you can be!

留学生との交流や論文で英語に触れる機会が増えました。また、大学主催の短期留学プログラムに参加して海外に行く機会もありました。普通の大学生でも海外とつながる機会はあると思います。

明石 最後に、グローバルな世界で生きていくためのアドバイスをお願いします。

杉山 まずは、受身にならずに自分を発信していく姿勢がとても大切だと思います。自分自身が興味のあるも



池田さん

のや、「これ面白い」という小さなきっかけが、大きく、末広がりになっていたりします。そのために、アンテナを張って、自分と向き合いながら、「自分が何をやりたいのか」「どんな人間になりたいのか」を常に問いかけてください。皆さんが自分の可能性を最大限に引き出し、これからの日本をグローバルに引っ張っていかれると信じています。Be the best you can be!

経験談を交えながら世界で活躍する秘訣を語る杉山さん



勉強をすることは辛くなかったですか？
杉山 私は全く苦になりませんでした。自分の興味ある単語、自分が使いそうなフレーズをピックアップして覚えたり、自分の好きな映画で英語を聞いて覚えしました。

世界から見えた 日本という国

明石 英語は世界で活躍するための一つのツールだったようですね。

加藤 自分は世界に出ない、と決めてしまえば、英語は学ぶ必要がないと思いますか。

杉山 世界を見てきて感じるのは、今は国内だけにとどまってしまうと成長が難しい時代だなということだと思います。でも、グロー



加藤さん

バルに範囲を広げると、まだまだ可能性があります。私は、世界35カ国を転戦してきて、日本は有能な人材の多い最も素晴らしい国だと感じたのと同時に、海外に向けて発信する力が少し足りないという弱点も見えてきました。日本人の良さである繊細さや気遣いを残しながらも、自己主張することが必要だと思えます。そのためには英語が大切です。もし皆さんが「英語は自分に関係ない」「世界に出て行くつもりはない」と思っている、就職先の企業で英語が公用語になることもあり得ます。自分でリミットを設定するのは

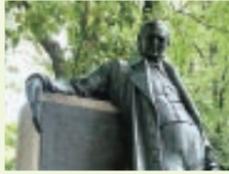
加藤 私は教員を目指していますが、日本の学校も内側に閉じがちで、地域とのつながりが課題になっています。杉山さんのお話をお聞きして、共通する部分が多くあるように感じました。

角田 所属する空手部で部員全員で協力して留学生を指導し、とても良い国際交流になりました。大学生活の中で何らかの形で国際交流に参加する機会はあると思います。そういったチャン

スを活かして積極的に取り組むと、学生生活がより有意義になるように思います。

池田 入学当初は海外とのつながりを感じませんでした。4年生になって研究室に入ると、

シュティフター作品に見る 自然のリズム



アーダルベルト・シュティフター
(1805-1868)

はドイツ文
学を専攻し
深く読み進
めていくこ
とにしまし
た。ドイツ
は冬が長い

はドイツ文
学を専攻し
深く読み進
めていくこ
とにしまし
た。ドイツ
は冬が長い

はドイツ文
学を専攻し
深く読み進
めていくこ
とにしまし
た。ドイツ
は冬が長い

私は、オーストリア出身の作家アー
ダルベルト・シュティフターの作品を
中心に研究しています。19世紀のドイ
ツ文学から出発して、現代の文化研
究としての記憶論、文学研究のあり
方などについても分析しています。父
親の仕事の関係で、中学生時代に1
年間ドイツで暮らしていた時にドイツ
文学と出会いました。ドイツ語やゲー
ム童話にも興味があったので、大学で

ドイツ文学との出会い

ので、暖炉の前で読み聞かせにより紡
ぎだしたような民話や伝承的な話が多
いのもドイツ文学の好きなところです。

静かに語られる強い主張

シュティフターの作品では、現代人
の慌ただしい生活とは違った四季折々
に応じた人間の暮らしや生の営みが
独特のリズムで語られます。村落共
同体の暮らしぶりや地域の行事、独
特な風習に基づくお祝い事などが描
かれ、未知のヨーロッパの文化を感じ
ることが出来ます。

他から己を知る

ドイツ語など他の外国語を勉強し
て、日本語は主語を省略する言葉だ
と気づいたりするように、他を通して
自分を知ることが出来ます。学生時
代にはなるべく海外に出て、未知の
ものに触れることがとても大事です。
そうした経験がこれからの人生で必ず役
に立つはず。

今ハマっていること*

生後4か月の娘の育児にハマっていま
す。おもちゃであやしたり、お風呂に
入れたりとなるべくスキンシップをと
るようになっています。娘の成長を感じ
ながらの日に幸せを感じています。



教育地域科学部
人間文化講座
磯崎康太郎 先生

なく、小川のせせらぎや風の
そよぎといったささやかなこ
とから宇宙の繰り返す自然の
リズムを書いていきました。
人間の誠実かつ実直さも表れ
ており、作家としての強い主
張がそこにはあります。小さ
なものとみなしていたものが
実は大きなものだったりする
ということですね。



シュティフターの絵画作品「ケーニッツ湖よりヴァツツマン山を臨む」(1837年)

学長メッセージ

日本の グローバル化に 求められるもの

学長 福田 優

日本企業が 置かれる状況

日本経済は1990年代のバブル
崩壊以降、「失われた20年」といわれ
る長期にわたる低成長にあえいでい
る。近年は日本企業の屋台骨を支え
てきた自動車、電機、鉄鋼等の製造
業も、戦後最高水準の円高により、
徐々に国際競争力を失い、躍進を続
ける韓国や中国企業の後塵を拝して
いる(三村明夫、理工系のための明
日への教科書、10-50、2012豊橋

技術科学大学編、講談社)。

現在、日本では税制、環境対策、
貿易協定等のビジネスインフラの整
備が欧米や中国・韓国と比べて著し
く遅れているため、ライバル外国企
業と同じ土俵で闘えない状況にある。
加えて3・11の東日本大震災に伴う
福島第一原発事故によるエネルギー
政策の不透明化と国内市場の縮小化
は、多くの企業の海外移転を促して
いる。しかし、言わば外圧による日
本企業のグローバル化は急速な科学
技術と経済の発展を見せている他の
東南アジア新興国とも激しい競争に
さらされている。

国際競争で 勝ち抜く人材に

日本企業の外国進出による空洞化
は日本国内での雇用の減少を招き、
大学卒業生の就職率の低下につな
がっている。更に企業は自力でグロ
バル人材を育成する時間的余裕も力
もないために即戦力となる優秀な留
学生や外国人を雇用する傾向が強ま
り、それが一層日本人学生の就職を
困難なものにしている。批判的思考

力、分析的・論理的思考力、問題解
決力がグローバル化社会では必修で
あり、これらに加えて国際語である
英語によるコミュニケーション力が求
められる事は当然である。コミュニ
ケーション力は単に英語が操れるこ
とに限らない。日本の文化や歴史を
深く理解すると共に異文化を理解し
受容する寛容な人間力が必要となる。
日本のグローバル化が外圧によるも
のであるとしても、今や世界の社会・
科学技術・経済は相互に大きく影響
し合い、日本がこれまで享受してきた
繁栄を続けるためには、厳しい国際
競争に勝たねばならないことは不可避
である。日本の学生諸君もこれまでの
ように国内にのみ目を向けて安閑とし
た生活を続けることは許されない。
国際性と先見性のあるリーダーとな
るために、外国留学等、積極的に異
文化と交わる機会を求め、その中で
タフでアクティブな人格を陶冶するこ
とが求められる。

今年、福井大学に本格的に開設さ
れる語学センターを是非とも積極的
に活用すると共に、夏季休暇を利用
した短期留学等に進んで参加して頂
きたいと期待する。

脳神経細胞を形づくるシステム

病院内に潜む危険を察知し その拡大を防ぐ防波堤

病院全体を診る感染制御部

通常医師は、主治医として患者さんを担当し、診断や治療を行います。感染制御部では、一人一人の患者さんだけでなく、病院全体の患者さんにも目を配ります。入院生活を送る患者さんが院内に存在する細菌に感染し、思わぬ感染症を引き起こすことがあります。このような細菌は、赤痢やコレラなどと異なり、通常どこにでも存在するものです。しかし、発症すると特殊な治療をしないと治らず、しかも検査をしないと診断できません。そしてそれは注意しないと知らないうちに周りの患者さんへ広がっていきます。感染制御部では、病棟での感染症の状況について医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師が集まって、問題となる感染症が発生していないか毎日情報交換しています。



医学部附属病院
感染制御部
岩崎博道 先生

新聞などで話題になっている通常の薬剤の効かない耐性菌は、大きな病院には必ず存在します。東京の病院でアシネットバクターという細菌による感染症が広がり、10名もの患者さんが亡くなったことがありました。私たちの病院ではそのようなことは起こらないと思っています。耐性菌をコントロールして拡大を未然に防ぐことが私たちの役目です。



感染制御部のコアメンバーによるミーティング風景

守りの感染制御と 攻めの診断治療

これまでは、第一内科に所属していましたが、院内感染に限らず、感染症を専門に研究してきました。リケッチアと呼ばれるダニが媒介する病気で「日本紅斑熱」という感染症が増えています。この病気が存在を知っていて、診断できなければ効果的な治療はできません。感染制御が守りの業務とすれば、診断治療は攻めの診療といえます。しかし、原因がわからない感染症に対しては、何が原因なのか突き止め、治療することが必要とされます。診断、治療、治癒という流れは、医師の仕事の醍醐味です。推理小説を読み解くようなこのプロセスは、若い先生たちの興味深い分野ではないかと思えます。病原体を特定し、今ある薬をどう使って治療していくかということはこのこれまでの医学教育ではあまり指導する機会がなかったように思いますので、今後は私たちがこの役割も担っていきたく考えています。

求められる仕事をやり、 やりたいこともする

もともと私は血液内科に入学しましたが、訳があつて、当初からずっと感染症に携わっています。

数ある医学領域の中で、自分のやりたいことと求められていることが必ずしも一致するとは限りませんが、仕事への意欲と興味を保つためには、現在の立場で求められる仕事をこなしながら、時間を作って自分のやりたいことにも取り組むことが大事だと考えています。私は福井医科大学(当時)で、院外感染に携わっていました。

け、神経細胞の中で必要な場所に分子を分配していることがわかりました。このような機構は神経突起の運命決定や伸長の制御、つまり神経回路の構造を維持するのに非常に重要であることが分かっています。

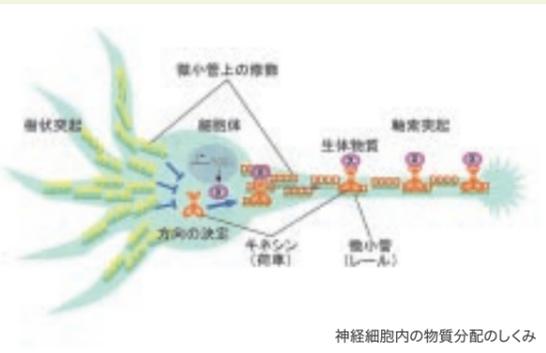
神経や筋肉など多様な細胞を生み出す能力を持つiPS細胞は、組織や臓器の再生医療への応用が期待されています。脳においてもパーキンソン病やアルツハイマー病など神経細胞が脱落してしまう神経変性疾患において、新しい神経細胞を供給する試みが考えられます。しかし、脳の神経細胞には綿密な繋がりがあつて、減った細胞を増やすだけでは完全に回路を元に戻すことができません。神経細胞の形態を制御するシステムの理解を通じて、神経回路の再生を可能にする技術や、神経老化や神経変性疾患を防ぐ新しい糸口が得られればと考えています。

生体から学ぶ

今、知能システム工学専攻では、多くの人にとって使いやすく、柔軟なマルチメディアやメカトロニクスをどのように作るかという課題を課題としています。その一つのアプローチとしてヒトや生物の知能から学ぶことで、これに基づいた新しいシステムを創出するという試みが考えられます。私の研究室では神経形態制御に関する研究を行っています。脳神経回路を形成・維持している機構を分子レベルで解明することは、脳の形成や記憶学習といった生物の知能システムを構築するうえでの鍵となります。

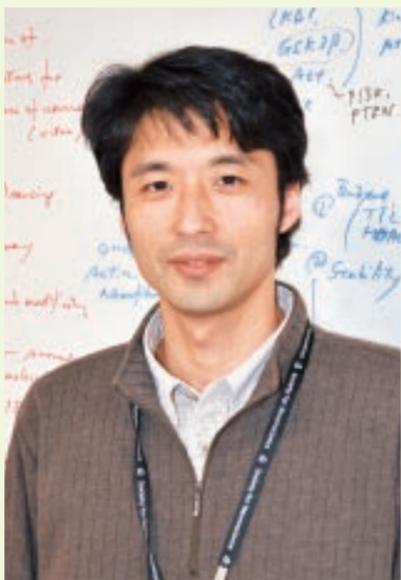
神経細胞で働く分子

例えば、脳の働きをつかさどる神経細胞には情報を受け取る樹状突起と続く



神経細胞内の物質分配のしくみ

細胞に情報を受け渡す軸索突起という二種類の突起があります。神経回路形成の過程で、神経細胞はこの樹状・軸索



大学院工学研究科
知能システム工学専攻
小西慶幸 先生

新たな発見を社会貢献に

研究の結果、この結合には軸索突起と樹状突起を認識する特異的なアミノ酸配列があることがわかり、この配列を変化させてしまうと、通常は軸索突起のみにあつたキネシンが軸索・樹状突起の両方に分配されることが判明しました。さらに、キネシンは微小管のレーン上を構成するタンパク質の標識の違いを認識することで、軸索突起と樹状突起を見分

今ハマっていること★



昨年我が家で誕生した「ハム」。iPhoneほの手のひらにおさまるサイズですが、豊かな社会性と優れた知性を備えています。

今ハマっていること★



我が家のサッカーコーナー

学生時代はサッカー部に所属していましたが、現在はもっぱら観戦専門です。ワールドカップフランス大会予選以降、フル代表の試合はフレントリーマッチも含めて全試合保存しています。興味のある方はぜひお声かけください！



リケッチア感染症の媒介動物調査(中国杭州にて)

ようこそ、 福井大学医学部へ！

医学部新入生歓迎委員

4月30日、青空の下「平成24年度新入生歓迎バーベキュー」が開催されました。企画したのは、医学科3年生22名、看護学科2年生15名の学生からなる医学部新入生歓迎委員です。

2月に希望者を募り集まった新入生歓迎委員が、入学式のサポートや新入生歓迎会、球技大会など一連の新入生との活動を企画運営してきました。代表の医学科3年の原田樹幸さんは、「自分が入学時に受けた歓迎がとても楽しかったので、自分も新入生を歓迎したい」と自ら代表に立候補。「準備は調整などこまごましたことが多く、完全に雑用係です」と言いながらもバーベキューでは進行係を務め、一連の歓迎イベントを締めくくりました。

「委員長という役職は想像以上に大変でしたが、すべては新入生のためにを合言葉にして他の委員達と協力して歓迎イベントを進めていくうちに、より一層信頼感も増してきました。また、新入生が楽しそうに友達と話したり、はしゃいだりしているのを見て、新歓迎委員全員が嬉しく思ったことは言うまでもありません。規模の大きくない松岡キャンパスだからこそできるイベントだと思うので、これからも受け継いでいってほしいと思います」と原田さんは話してくれました。



新入生歓迎委員が新入生をおもてなし



新入生たちと記念撮影する代表の原田さん（中央右）

FACE がんばる学生を紹介

掲載されている方の所属、学年等は活動参加時のものです。

JUMP!! 飛び出せ！福井大学祭

福井大学祭文京キャンパス実行委員会

学生のエネルギーあふれる福井大学祭！今年のテーマは、「JUMP!!」。

大学祭をとおして、学部、学年、地域の枠を飛び出しみんなで交流してきたいという福井大学祭文京キャンパス実行委員会の思いを掲げ、5月25日〜27日の3日間、文京キャンパスで福井大学祭が開催されました。

実行委員会メンバーは、新入生を含む約45名で構成され、2〜3年生も新入生時から実行委員になり、活動を続けてきました。新入生が企画を立て、経験のある先輩メンバーがアドバイスを

しながら全員で大学祭を企画・運営しました。

今年新たに開催した「学術企画」。本学の先生がそれぞれ研究内容を講義スタイルで発表しました。学生だけでなく、先生にも企画側に参加してもらうという初の試み。他学部の学生や一般の方々にも様々な分野の研究について知っていただく機会となりました。

「SPYAIR」のライブや毎年恒例のカラオケ大会やビンゴ大会、1時間企画など今年も大いに盛り上がりました。



オープニングでジャンプをするメンバー



福井大学祭実行委員会のみなさん

海外留学プログラムを終えて

大学院教育プログラム・スプリングプログラム

期間：2012年3月4日〜3月18日
実施：上海理工大学（中国）
参加：27名

中国語・文化に関する授業と英語による工学専門教育を行うことにより、生きた外国語を学ぶ機会となっています。また、本学留学生同窓会上海支部会員や県内企業の駐在員等から講義を受けたり、企業・工場を訪問し、アジア経済のダイナミズムや国際交流の重要性を肌で感じることができました。

■杉本龍亮さん（工・物理工学科4年）

短期留学特別講義で学んだ「事実は自分で感じると」という言葉が印象に残っている。知識として知っているのはほんの表面のみで、やはり実際に現地で経験する必要があるのだと感じました。

■川崎善大さん（工・機械工学科4年）

参加前は、漠然と勉強や研究をして、このまま進むものだと思っていたが、プログラムの海外企業経営・技術論で来てくれた現地の人たちの経験談や考えを聞いて、学習とは何か、働くとはどういうものかを具体的に感じ取ることができるようになりました。

■山本耕輔さん（工・電気・電子工学科4年）

中国人の学習意欲は高いと聞いていましたが、同じ大学生とは思えないほどの高さで



「スプリングプログラム交流会」で大合唱する福井大学と上海理工大学の学生

した。まるで大学受験を控えた高校生のよう熱心でした。・・・正直危機感を覚えるほどです。

■河村拓郎さん（工・生物応用化学科4年）

自分の学科では取り扱わない分野について外国語で受ける講義はとても新鮮。「自分に限られた分野内の専門家になればよい」というようになりがちでしたが、広い視野で物事をとらえ、考えていくことの重大さに気づけました。

異なる研究分野間の学生相互交流によるグローバル人材育成

期間：2011年12月〜2012年1月の間それぞれ2週間
実施：国立成功大学（台湾）、中国医薬大学（台湾）、フトラ大学（マレーシア）
参加：10名

本学と海外の3大学の異分野の研究室において、専門分野とは異なる研究のアプローチ、手法を経験することで、異分野の研究領域を結集して既存の問題を解決する力や、新たな分野を開拓する力を身につけます。今年度は、1大学（中国）の増となり、8〜9月に本学と4大学とで相互に学生を派遣する予定です。

■大西浩平さん（工生物応用化学専攻2年）

フトラ大学の研究室では一度就職した後自身スキルアップを兼ねて研究室で研究するという学生が何人かいました。その姿に日本の教育環境が非常に恵まれていると感じたと同時に、勉強することの大切さを感じる事ができました。

■谷屋早紀さん（工生物応用化学専攻1年）

留学前には自分の研究内容を英語でしっかり説明できるように準備しており、質問にも答えられると思っていました。しかし、分野外の学生に説明すると、自分の英語力のなさを痛感。今後は積極的に他分野の研究内容にも目を通して行きたいと考えています。

■内井俊貴さん（工・生物応用化学科4年）
プログラムに参加して、違う分野からのアプローチをかけることは面白いと感じました。1つの実験をするにしても様々な分野の知識が必要となります。

■清水遥絵さん（工・生物応用化学科4年）
今回のプログラムでは、自分自身の研究についても改めて確認できることが多くあり、改めて自分の実験の意味を考えました。自分とは違う実験を試みることで、実験に対する視野が広がりました。



研究紹介する内井さん。隣は指導した張憲彰教授（国立成功大学にて）

【海外留学に関する問い合わせ】 学生サービス課留学生係 E-mail: grryugaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

We LOVE 福大

ver. 6 「福大の発明」を探る!

みなさんは福大にどんなイメージを持っていますか? “普通の大学”? そんなことはありません。実は、福大では多くの先生や先輩がいろいろな発明をしているのです。特許だけでも、その数362個!! そんな「福大の発明」の中から、今回は学生広報スタッフが独断と偏見で選んだものを、みなさんにご紹介します!

※平成24年6月現在出願数

福井大学広報センター
マスコットキャラクター
広福くん



発明 FILE.05

おいしい減塩へしこ!

名称 「魚糠漬け加工食品の製造方法」



発明者 教育地域科学部 生活科学教育講座 村上亜由美 准教授
大学院工学研究科 ファイバー・アミニティ工学専攻 末信一朗 教授
特開 2009-225695
公開日 平成21年10月8日

発明の背景

福井の特産品であるへしこは塩分が多く、塩分を気にする人には食べたくても食べにくいものでした。そこで、誰でも安心して食べられるように、減塩へしこを作りました。

こんな発明!

魚を塩と糠で漬けて水分を抜いて保存性を高めるへしこ。脱水シートを使って魚の水分を抜き、乳酸菌をあらかじめ加えた糠に漬けることで、塩分量が今までの1/3の減塩へしこの作成に成功!



使用例

鯖をはじめサンマやフグでもこの方法で製造可能です。

発明 FILE.04

これで楽しむ和の心

名称 「自然灯火を再現する照明装置及び自然灯火の再現方法」



発明者 大学院工学研究科建築建設工学専攻 明石行生 准教授
特開 2011-048955
公開日 平成23年3月10日

発明の背景

今まで自然の灯火と同様の安らぎと癒しの効果を人工の照明から得るのは難しかったのです。そこで、話題のLEDを使って、和ろうそくのような自然の灯火を安全に再現できるような照明装置を開発しました。

こんな発明!

本物の和ろうそくとの違いは煙の有無だけというのが特徴です。和ろうそく特有の情緒ある「炎の揺らぎ」も再現しています。LEDによる電力削減を達成しつつ、火を使わず安全に日本古来の伝統的な「和」の趣を楽しめます。

使用例

ただ明るだけの照明とは違い「和」の趣を引き出す演出装置として、旅館や寺院など幅広い利用が期待されています。

発明 FILE.02

貝殻から蛍光塗料が!?

名称 「蛍光材料およびその製造方法」

発明者 産学官連携本部 米沢晋 教授
大学院工学研究科材料開発工学専攻 金在虎 講師 外1名
特開 2011-162728
公開日 平成23年8月25日

発明の背景

今までも貝殻を利用した蛍光材料は存在したのですが、水に溶けない固形物だったため、塗料などに混ぜて利用することが困難でした。そこで塗料などにも溶ける水溶性の蛍光材料を開発しました。

こんな特許!

まず、サザエ、ホタテ貝、ムラサキガイなどの貝殻を焼却し、砕きます。これを水と混ぜ、貝殻の成分を抽出します。この貝殻の成分が蛍光材料になります。



使用例

蓄光性タイルや避難指示板などに利用されます。この発明は廃棄する貝殻を再利用でき、残った固形物や抽出液は保湿性があるため化粧品としての利用も期待できます。

発明 FILE.03

花粉症に苦しむ人へ・・・

名称 「アレルギー疾患の治療薬 且つ治療効果マーカー」

発明者 医学部医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域 藤枝重治 教授 外8名

特開 2009-210420
公開日 平成21年9月17日



◀ 見るだけでなく鼻がムズムズしてきます

発明の背景

スギ花粉症の治療は、症状を抑える「薬物治療」では根本的な治療にはなりません。そこで、根治療法としてアレルギー体質を改善する「免疫療法」があります。しかし、効き目に個人差があり、有効かどうか分かるのに2年以上かかる場合がほとんどです。そのため、免疫系の薬と症状を抑える強い薬の二種類を服用しなくてはならず、患者への負担が大きくなります。

こんな特許!

免疫療法を行う時、確実かつ簡単な「効果判定または予測マーカー」を患者に提供し、短期間で「免疫療法」の効果を予測し、「免疫療法」もしくは「薬物治療」のどちらかに専念するかを早い段階で決めることができます。ちなみに、マーカーの名前は「Apolipoprotein A-IV」です。

発明 FILE.01

(腰が) 曲がらぬ先の杖。

名称 「歩行補助用杖」

発明者 教育地域科学部 吉澤正尹 名誉教授
産学官連携本部 吉長重樹 准教授

特開 2009-233041

公開日 平成21年10月15日



発明の背景

今までの多点支持タイプの杖では、立ち止まった状態で体重を支える場合には問題ありませんが、歩いているときに使用者は前かがみの姿勢になってしまい腰に大きな負担が加わることや、腕に大きな力が必要となる、などの問題がありました。



こんな特許!

そこで、加重により伸縮して長さが変化する緩衝機構をそなえることで①着地の際の衝撃が緩和される②杖を斜めについても前かがみの姿勢とならず、杖で体重を支えながら自然にあるくことが出来るようになります。

◀ 今回お話を聞きした吉長先生

これらの部分が伸縮!

使用例

足腰が弱った高齢者や足腰に障がいのある身体障がい者が歩行する際に安定して歩行ができるよう補助するとともに、歩行者の負担を軽減する杖。



学生広報スタッフも納得の安定感▶



今回紹介した福大の先生や先輩達の発明の数々、みなさん意外と知らないものがあったのではないのでしょうか?しかし、これらは「福井大学の発明」のほんの一部なのです。もしかしたら次に大発明するのはあなたなのかもしれませんよ!

学生広報
スタッフ
募集中!



学生広報スタッフの様子(2012.3)

学生広報スタッフを募集しています。福井大学生なら誰でもOK! 企画・取材・広報誌・webページの制作に興味のある人、大歓迎です。希望する人は気軽に連絡してください。一緒に楽しく福井大学の魅力を発信して広めていきましょう。



福井大学広報室
Tel / 0776-27-9733
E-mail / sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

【メールへの明記事項】
タイトル: プレスタ応募(氏名も必ず)
内容: 氏名、学部(研究科)学科(専攻)、学年、住所、携帯電話、E-mail、応募動機
※ご記入いただいた個人情報は学生広報スタッフの活動にのみ使用いたします。

No. _____
Date

採用担当者に直撃!

就活あれこれ Q&A

合同説明会ではなかなか聞けないようなことを採用担当者にズバリ質問! 採用担当者のホンネを教えてください。

教育地域科学部
地域科学課程4年
木戸郁恵(右)
鎌谷有紀(左)



Q 身だしなみ(ネクタイ、アウター)などは気にしていますか?

A それほど厳しく見ていません。一般常識の範囲内であれば、気になりません。言葉づかいや態度の方が印象に残ります。

Q 採用ではどこを重視していますか?

A お互いが第一志望であること! しかし、思いが強くてひとつの職種にこだわって応募されると、入社後はいろいろな業務に従事することになりますから、求める人材とズレが生じる場合があります。

Q TOEICの点数や資格は重視していますか?

A 採用には直接結びつきません。皆さんのアピールポイントのひとつとして捉えています。グローバル化に伴って英語を勉強して損はないと思います。

Q 応募書類に添付書はつけた方が良いですか?

A 添付書やお礼のメールはいただく、「しっかりした人だな」と思うくらいです。採用の基準にはなりません。

Q 採用のツールとしてSNSは利用していますか?

A 弊社ではFacebookを使い、セミナーに関する情報を載せ、広報活動のツールとして使っています。今後は、内定者のコミュニティを作ることなどを検討しています。

就職支援室から

スタッフ リレーコラム

お知らせ

7月13日(金)
内定者による就職活動体験報告会

7月20日(金)
業界・企業研究会 第1弾

8月
福井県公立学校教員採用試験
二次選考直前学習会
企業訪問会in愛知(2回)
企業訪問会in福井(6回)

10月5日(金)
教職ガイダンス1

10月12日(金)
筆記試験対策講座
メイクアップ講座

10月19日(金)
業界・企業研究会 第2弾

第1回 キャリアカウンセラー 杉原 恭子



ふくいジョブカフェで7年間カウンセリング業務に従事後、平成24年4月から本学就職支援室に勤務。

相談を受けていると、一人ひとり本当にいろいろな悩みや不安を抱えていると感じます。就職って自分の人生の中でとても大切なことですね。相談という堅苦しい感じがあるかもしれませんが、話をすることで視野が広がったり強みを再確認できたり、就職活動を前向きに進んでいけるヒントがいっぱい見つかります。みなさんが自信を持って前に進んでいけるようなお手伝いをしたいと思っていますので、是非気軽に相談に来てくださいね。

学生が企業の人事担当者へ、会社の魅力や特長、求める人物像などの率直なご意見をインタビュー。あなたの学生生活を有意義に過ごすためのポイントが隠れているかもしれません。今回はセーレン株式会社 人事部 採用担当 松井優太さんにお聞きしました。

福大生の 就活ノート

会社情報

セーレン株式会社

セーレン株式会社、セーレングループ
国内外で様々な業界に対して「繊維技術」による製品を提供しています。
単独従業員数1,626名 連続従業員数5,701名(セーレン及び、グループ会社を含む)(2011年9月現在)



会社の特徴、ウチはここに強い!

みなさんから見ると、弊社は繊維のイメージが強いと思いますが、長年に渡り培ってきた繊維技術を軸にファッショ、自動車内装材、エレクトロニクス、メディカル、ハウジングなど、「総合繊維メーカー」として多彩な事業フィールドを展開しています。なかでも、120年の繊維技術と最先端のIT技術を融合し、デジタルデータを布地に鮮やかにプリントすることができる「ビスコテックス」技術は従来の染色の概念を大きく変え、ファッション業界に驚きを与えています。

ウチはここを重視します!

今年の採用コンセプトは「カラー」をテーマに「個性」を重視しました。个性的という表現が良いかはわかりませんが、弊社は業界の中でも個性のある集団でありたいと思っています。一方の考え方ではなく、多角的にいるんな角度から考えて新しい物、新しい風を生み出してくれる人材を求めています。そのため、弊社の平成24年度エントリーシートは、一般的なプロフィールを書くものではなく、リーダーチャート

を用意し、自分の特徴などを「見える化」してもらいました。5段階評価をベースに「責任感」、「チャレンジ精神」などのカテゴリはこちらで明記し、それ以外にも自由に表現できる空白の箇所も設けました。チャートに、あえて低い数値でネガティブに表現する方や自分の良い部分を表現するのリーダーチャートから突き抜けてアピールする方など、その表現方法は実に様々です。そのほか、「カラー」で自分を表現してください」という質問も設けました。今年は「〇〇の赤」、「〇〇の青」と原色を書いてくる方は少なく、赤と青の両方の要素を盛り込めるということから「紫」といった混合色の回答が多かったですね。「自分の個性をアピールしたい!」という学生さんにとってはびつたりの質問だったのではないのでしょうか。その反面、個性ってどのようにしたら良いか悩む学生さんも多いと思います。就活に結びつかどうかは別にして、学生生活の中で自分が何をしたいのかを自問自答しながら、自分の興味を見つけ出し、取り組むことが、自分の個性、アピールポイントとなっていくのではないのでしょうか。

福大生のみなさんへ

採用の際にいつも私が思っているのは、「エントリーしてくれたみなさんの第一志望が弊社であってほしい」ということです。やはり入社後は同じ仲間になるわけですから、お互いが第一志望だと心強いですね。
学生生活ではできるだけ多く、いろいろなジャンルの本を読み、さまざまな価値観に触れてください。また、企業も海外展開をしている時代ですので、語学も頑張ってください。入社するとそういった時間がなかなかとれないので、勉強ができる時に勉強をして有意義に過ごしてください。



人事部 採用担当 松井優太さん



卒業生リレーメッセージ
FUTURIST
~未来人~

常に広い視野で 患者さんと向き合う看護がしたい

平成14年度医学部看護学科卒業
平成23年度医学系研究科看護学専攻修了
福井県立病院 看護師

井上和也 さん

深みを知った 看護師という職業

看護師は女性の職業だというイメージが強く、男性が選びにくい職業かもしれません。それでも男性である私が看護師になろうと思ったのは、母が看護師だったこともありですが、専門性のある仕事に就きたかったからです。漠然と学び始めた看護学でしたが、成人・老人看護学領域の酒井明子先生に出会い、学ぶ楽しさや看護の奥深さを教わったことで、看護師への思いが強くなっていきました。学生時代は同学年の男子学生は私を含め2人だけでしたが、男女関係なく楽しく過ごせることができました。性別の垣根を越える看護分野の良い特性でしょうか。

卒業以来、県立病院に勤務しています。勤務を続けながら2010年に福井大学大学院の修士課程に進み、今春、修了しました。臨床現場を経験した上で生まれた疑問について学んで視野を広げられたこと、恩師である酒井先生のもとで再び学びたことからです。実際、科学的・理論的な側面から基礎を学び直せたことで、看護に深みが出せるようになったように思います。

被災地での活動が 看護に活かせるように

昨年3月の東日本大震災でDMAT



唯一の男子同級生と。近況報告するなど卒業後も交流が続く(右)



弓道部の仲間たちと袴姿で。参段の腕前で(前列左)

いろいろな角度から ものごとを見るために

現在は、集中治療室で手術後や急性期の患者さんを担当しています。疾



患などの部分的なところだけではなく、患者さん全体を看るよう心がけています。

在学中はなんとなく学んできたことも、臨床の場に立つてみると「もっと深く学んでおけばよかった」と思うことが多々あります。在学生の皆さんも実習や試験をこなすだけで大変かもしれませんが、自分とは違う考え方を持つ人たちと積極的に交流し、学びに活かしてほしいと思います。さまざまな角度でものごとを見ることで、社会人になったときに深みのある仕事をする助けになるかもしれません。

※DMAT:「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義される、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)

It's My Circle

学内には体育系・文化系あわせて100を超える部・サークルがあり、福大生の半数以上が所属しています。超有名な!?サークルから意外と知られていないサークルまで、さまざまな部・サークルをご紹介します!

現在の登録数 [文京]..... 体育系60/文化系35
[松岡]..... 体育系25/文化系20

学生ナンバー1

福井大学アメリカンフットボール部SILVER PHOENIXが、3月に関西学院大学で関西学院大学アメリカンフットボール部FIGHTERSと合同練習をしました。FIGHTERSといえば、全日本大学選手権決勝「パナソニック杯第66回毎日甲子園ボウル」で4年ぶり24回目の優勝を果たした強豪チーム。2日間の日程で、合同でスキルアップのトレーニングや筋力トレーニングに励みました。練習に参加したSILVER PHOENIXは、日本一になるために目標を見

関学アメフト部FIGHTERSと合同練習!

つけ、個人個人が高い意識で取り組んでいるFIGHTERSの練習に参加し、強く刺激を受けるとともに今後の練習を強化していくポイントを掴みました。主将の影山田美さんは「アメフトには、ポジションによって求められる役割が違うので、作戦のために選手を組み合わせる喜びがある。今後は、FIGHTERSとの練習を参考に、練習メニューにも工夫を加えながら、チームで一つの目標に向かってがんばっていききたい」と話してくれました。



光るチームワーク! アメリカンフットボール部 SILVER PHOENIX

[練習日] 火・水 16:30~18:30
金 13:30~18:30
土 9:00~13:00

[練習場所] 福井大学グラウンド
[部員数] 27名(選手21名・スタッフ6名)

詳しい活動は公式HPでチェック★
<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/9693/>

部員募集中!

アメフトはポジションによって役割が違うので、何か自分のできることを見つけたい方、また大学生になって何か新しい自分を見つけた方などぜひぜひ SILVER PHOENIX に入部してください! チームの雰囲気がとてもいいので、一緒にがんばっていきましょう!



『It's My Circle』に登場したいサークルのみなさんは広報室までご連絡ください。E-mail:sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

Event Calendar

イベントカレンダー

大学行事に加えて、在学生も参加可能な公開講座やシンポジウムなどをご紹介します。充実した大学生活を送る参考にしてください。詳しくは大学ホームページでチェック

7月

21	医学部講演会 「緑内障って、どんな病気？」 医学部医学科眼科学領域 教授 稲谷 大 「新国民病CKD(慢性腎臓病)」 医学部医学科腎臓病態内科学領域 教授 岩野正之	文京
28~8/17	西日本医学生体育大会	岡山県 ほか

8月

3~9/30	夏季休業(医学科5,6年は8/31まで)	松岡
7~9/30	夏季休業	文京
8	オープンキャンパス	文京
9	オープンキャンパス	松岡
25	公開講座 「福井大学発 最先端研究~明日への挑戦」 「イオン液体と相互作用を利用した二酸化炭素選択的透過高分子膜の開発」 大学院工学研究科材料開発工学専攻 准教授 阪口壽一	文京

9月

8	公開講座 「福井大学発 最先端研究~明日への挑戦」 「『いえ空間』における異年齢保育の集団形成に関する調査研究」 教育地域科学部附属地域共生プロジェクトセンター 助教 栗原知子	文京
28	サークルリーダーシップトレーニング	

10月

1	開学記念日/後期授業開始	
13~14	暁祭	松岡
14	スポーツ公開講座「フライングディスク入門」	
20	合同慰霊祭	松岡
21	福井大学 きてみてフェア2012	文京
	北陸三県大学学生交友会芸術祭(~11月)	富山県

昨年秋、東大の大学院に在籍する古市憲寿さんの『絶望の国の幸せな若者たち』が出版され、話題を呼んだ。若者の学生の皆さんは、このタイトルをどう受け止めるだろうか？

比較的最近のデータの一部を紹介すると、例えば、日本青少年研究所『高校生の意欲に関する調査』2007(日米中韓比較)では、「暮らしていきける収入があればのんびりと暮らしていきたい」という設問に対し、肯定的に答える割合は日本が一番多く、80.8%。2008年の内閣府『国民生活に関する世論調査』では、「現在の生活にどの程度満足」という問いへの肯定的回答は、20代がピークで69.7%。あるいは2009年『中学生・高校生の生活と意識』(日米中韓比較)の「自分はダメな人間だと思う」への肯定的な回答は、65.8%で他の3国を大きく引き離していた。これについてどう思われるだろうか？

若年失業率の高さ、ニート、フリーターの多さも、「働く意欲」、「まじめ」の崩壊の問題が指摘される。また就職しても海外勤務を希望しない「内向き志向」も現実にはある。

一方、これは若者の「働く意欲」の問題ではなく、トランジションの困難



さと危機であり、「能力主義」に支配されない生き方への若者の「ビジョン」の変化の兆候、あるいは、かつてないトランジションの危険を課する現代社会との葛藤をみずからの内部に押し返した若者の適応と抵抗の結果であると捉えるべきとの指摘もある。(豊泉周治「若者のための社会学」)

あなたたちはどう考えますか。語り合い、学び合う機会を持ちたいと思います。

役員コラム Fu's Voice

あなたたちはどう受け止めるか —最近の若者論から—

教育・学生担当副学長
寺岡 英男



* MESSAGE *

UF Students "Go Global!" The Language Center 語学センター

今年4月に語学センター長に就任されたアルバート・レーナー先生から福大生に向けたメッセージです。

First of all, I would like to thank President Fukuda for the opportunity to come to the University of Fukui (UF) to assist in making the Language Center (LC) a key component in the education of all UF students. Last year, the LC was wisely guided in its infancy by Professor Sadayuki Nakane, who is now assisting me as I become familiar with the UF educational system. I feel lucky to have worked at Akita International University for the previous eight years and am now ready and eager to take on new challenges of helping to reform English education at UF with my colleagues from the Faculties of Education and Regional Studies, Medical Sciences, and Engineering. I am excited to meet as many students as possible and to teach you.

As a student, you might think, "I have heard the term *globalization* too often and I am not personally affected by it. Why worry?" It is too easy to think, "Japan is an island nation. I love Japan and I have everything I need right here." Unfortunately, it is not realistic to think that way any longer.

Once you develop a critical approach to globalization and its impact on Japan, you will quickly find out:

- Japan imports approximately 60% of its food each year.
- Gas used to heat the water you use to take a shower might come from Indonesia.
- Ball pens you use in class might include plastic made from Saudi Arabian oil and metal from Australia.
- Some Japanese companies like UNIQLO, for example, outsource their manufacturing to China, so that a number of "Japanese" products are not made in Japan, as a matter of fact.



語学センター教職員:
(左から)坂東さん、中根先生、レーナー先生、広瀬さん

The list goes on and on, but the point is concise: Japan is "Japan" because other countries help to sustain its lifestyle, just as Japan does for other countries. If you want to maintain this Japan for a long time, you must contribute actively to the world as well, or you might soon lose this Japan.

Communication for international purposes is essential today. As you continue to use Japanese for intranational purposes, it is time to take seriously the challenge of acquiring a foreign language like English or Chinese, so that your generation of Japanese young people will not be left behind as *globalization* mounts an aggressive and dynamic movement worldwide.

Albert Lehner

まずはじめに、福井大学の教育の重要な一端を担う組織とすべく、語学センターのお手伝いをするという機会を与えて下さった福田学長に感謝申し上げます。昨年度は、船出したばかりの語学センターを中根先生教授にうまく舵取りしていただきました。現在、中根先生は、私が福井大学の教育システムを理解する手助けをして下さっています。私は、昨年まで8年間国際教養大学で教鞭を取ってまいりました。これからは福井大学で、教育地域科学部、教育学部、工学部の先生方と一緒に教育改革のお手伝いをするという新たな挑戦に心をはずませていただきます。できるだけ多くの学生諸君にお会いし、教えることを楽しみにしています。

学生のみならず、「グローバル化」という言葉はよく耳にするけれど、自分には関係ない。気にしない、気にしないと思われるかもしれない。日本は島国。自分には日本が大好きで、必要なものはすべてここにあると思いがちです。しかし残念ながら、そのような考え方はもはや現実離れしています。

「グローバル化」とその日本への影響についてつぶさに考えれば、次のようなことがすぐに分かります。

- 日本は、毎年食料の約60%を輸入している。
- あなたが浴びるシャワーの熱源はインドネシアの天然ガスかもしれない。

- 授業で使っているボールペンは、サウジアラビアの石油から作られたプラスチックやオーストラリア産の金属でできているかもしれない。
- 生産を中国にアウトソースするユニクロのように、多くの「日本」製品は、実は日本では作られていない。

このようなことを挙げれば切りがありません。ポイントは、日本が「日本」として存在する際には、日本の生活スタイルを支える多くの国々の存在があるということ。そして、日本も同じように他の国々を支えているのです。もしこの「日本」を今のままの姿で残したければ、皆さんもまた「世界」に積極的に貢献する必要があります。さもなければ、この日本はやがてなくなってしまうかもしれないのです。

現代では、国際的な(国と国の「間」をとりもつ)コミュニケーションが不可欠です。日本語は国の「中」でのコミュニケーションのツールとして使われ続けていますが、今や、英語や中国語などの外国語の習得に真剣にチャレンジすべき時が来ています。「グローバル化」が世界的に猛烈かつ劇的な動きとなっていく中、みなさんの世代の日本の若者が世界から取り残されないようにするには、それが必要なのです。

アルバート・レーナー



保健管理センター 利用のススメ

良い夏を過ごすために
熱中症・細菌性食中毒 注意!

高温多湿のこの時期に起こりやすい熱中症や食中毒の予防に心がけましょう。

熱中症では、こまめなスポーツドリンクや水分塩分補給が有効とされています。食中毒では、必ず十分な手洗いをしてから食品を触る、食品は正しい保管をし、加熱調理をすることを守ってください。また、まな板などを清潔に保ちましょう。

それぞれ、疑わしい症状が現れたら直ちに医療機関を受診してください。

利用時間について

文京キャンパス 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-27-8513

相談内容	相談日	受付時間
健康相談(内科医師)	月曜日～金曜日	8:30～17:00(予約制)
健康相談(精神科医師)	第1・3火曜日	13:00～15:00(予約制)
健康相談(婦人科医師)	第4木曜日	15:00～17:00(予約制) ※夏季・春季休暇中、10月はお休みです。
カウンセリング(臨床心理士)	月曜日～金曜日	8:30～17:00(予約制)
一般相談(看護師・保健師)	月曜日～金曜日	8:30～17:00

松岡キャンパス 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-61-8575

相談内容	相談日	受付時間
健康相談(内科医師)	第1・2・3金曜日	15:00～17:00(予約制)
健康相談(整形外科医師)	第2・4火曜日	16:00～17:00(予約制)
健康相談(産婦人科医師)	第1・3水曜日	16:00～17:00(予約制)
健康相談(精神科医師)	第1・3水曜日	17:00～18:00(予約制)
カウンセリング(臨床心理士)	月曜日～金曜日	9:30～17:00(予約制)
一般相談(看護師・保健師)	月曜日～金曜日	9:00～17:00



あなたの金メダル 教えてください

あなたが今、頑張っていることや熱中していることなど、あなたがめざしている金メダルはありますか？あなたの金メダルを教えてください。

応募方法

QRコードからご応募ください。締切は8/24です。ご応募くださった方の中から抽選で10名様に、**デザインメモ**をプレゼント!



プレゼント

(実物とは異なる場合があります)

みなさまからのご応募、お待ちしております!

ご記入いただいた個人情報、プレゼントの送付及び、お問い合わせ・ご意見をいただいた際のご連絡に使用させていただきます。



福井大学公式Facebookページを開設!

大学からの情報を広く発信するためにFacebookページを開設しました。アカウントをお持ちでない方にもご覧いただけます。アカウントをお持ちの方はぜひ「いいね!」をお願いします。

<http://www.facebook.com/fukui.univ>



Twitterでも 情報発信中!

福井大学広報センター
@fukudai_koho

●表紙について



福井大学の南東に位置する小さな雑木林にて撮影しました。この雑木林を地域の庭として活用し、様々な活動を続ける「雑木林を楽しむ会」のメンバーにご登場いただきました。今年9月で発足10年目を迎えます。

- 教育学研究科修士課程1年 荒井紀子さん
- 教育学研究科修士課程1年 長谷川実香さん
- 工学部機械工学科3年 豊田智也さん
- 工学部物理工学科3年 国枝賢治さん
- 工学部建築建設工学科4年 村田真由さん
- 工学研究科物理工学専攻 博士前期課程1年 竹嶋大貴さん



ふくだいプレス 第10号

発行日/平成24年7月 発行者/福井大学広報センター
TEL 0776-27-9733 e-mail sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

編集後記



今年オリンピック開催年。様々な競技でこれまでの成果を発揮する選手たちの姿に毎回感動します。そこには、選手たちの並々ならぬ日々の努力があることは言うまでもないでしょう。日々の小さな積み重ねは、みなさんを夢や目標の達成へと導いてくれるはず。歩みましょう、今から。夢への第一歩を。

「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす」

宮本 武蔵

Editor's note